

城北



令和6年3月1日現在	
総世帯数	3,783
総人口	7,808
男	3,734
女	4,074

少しくも浮かぶ青い空
朝夕かよう 僕たちだ
赤いレンガの校門よ

『旧田町小学校の 歴史と写真展』

開智小が昨年開校150年を迎えました。合併前の旧田町小学校を振り返ると、2月16日に田町在住の後藤芳孝さん（昭和29年4月入学）により「60年前まであった田町小学校」と題し説明会が開かれました。

現在の城北公民館の場所（石碑あり）にあった、田町小は明治43年に松本尋常高等小学校田町部で開校し、田町尋常小学校、田町国民学校と名を変えて、昭和22年に松本市立田町小学校となりました。昭和38年に廃校式を行い、開智小と統合されるまで55年間に約1万1千人の卒業生を送り出しました。校舎風景や学校生活を思い出してもらおうと、公民館委員会の文化部が企画し、なつかしい写真を募集したところ、なんと50点以上が集まり展示しました。



▲展示された写真の一つ（昭和30年代前半の運動会の様子）

説明会ではたくさんの方の卒業生が訪れて、全真大きな声での校歌斉唱から始まり、当時の小学校生活の記憶を思い出しながら話が弾み、幼かったあの頃に戻りました。

松本城の北側に建設されましたが、昔からの湿地帯でしたので、基礎工事では6尺平均の壕を設けて、敷地内の水を排除するなど排水に配慮しまし

た。開校当時の学区は、北は中原あたり、東は元町・横田あたり、西は宮淵や今町あたり、南は大名町あたりの内側と広範囲でしたが、大正の後半から昭和の初めに、近隣に部校が開校して、次第に学校近辺へと固まっていきました。在籍児童数と学級数の遍歴、また、楽しかった学校生活は展示された写真を見ながら遠足、修学旅行、登山・キャンプ、給食と戦前・戦中・戦後55年間の思い出が語られました。

昭和33年に開校50周年を迎えましたが、校舎の傷みが目立つようになり、改築が話題になりました。同じ時期に同様な話が出ていた女鳥羽川添いの開智小との統合話が出て、近代化推進の動きのなか、旧松本市立病院跡地が候補に上がり、統合開校されました。田町側にすれば、校名は消え、統合とはいえ吸収されてしまうような感覚もあり、すなおにも納得という空気ではないのもあったということです。学校の跡地は分譲されて、個人住宅・田町遊園↓城北公民館・渚へ移転前の丸の内病院↓オーチャード開智・日本キリスト教団松本教会・松本市建築業会館が建てられ現在に至っています。小学校で学ん

だ方々も高齢となり、ますます知る人が少なくなっていく。150周年を機会に田町小のことを偲ぶ機会が持て、在りし日の思い出話ができ、なつかしいひと時を過ごすことができ、幸せだった」と、まとめていただいた後藤さんに感謝の言葉をかけておりました。



▲懐かしい校歌を歌う参加者



▲参加者が思い出を語る場面もありました。

能登半島地震災害支援 城北ふれ愛・箏曲カフェ

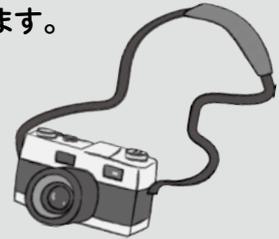
2月14日（水）、公民館利用サークル「なつめの会」（お抹茶提供）、信州大学箏曲サークル「ことごと」の協力により、箏曲カフェが開催されました。時間中は出入り自由でしたが、開始直後は、用意していた座席に座り切れないほどの人が集まり、合計32人がお抹茶とお茶菓子をいただきながら、「春よ来い」「さんさんさくら」などのお琴の演奏を聴きました。入場料の一部と、会場に置かれた募金箱に寄せられた金額との合計約2万2千円が、被災地域に寄附されました。一度の催しに多くの人が集まり、被災地に心を寄せる様子から、城北の皆さんのあたたかな助け合いの輪を感じました。



▲多くの方が被災地に心を寄せました。

令和5年度 館報編集・記録班の活動(一部)

記録班は、公民館の様々な事業に出向き、活動の様子を記録しています。



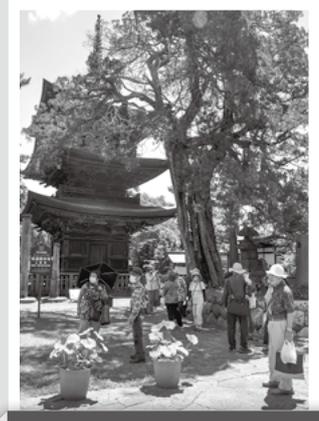
5/20 ウォーキング大会



5/24 手作りパンとスイーツ講座



7/31、8/28 歴史とロマン講座



7/20 古きを訪ね新しきを悠学する講座

8/1 科学講座



8/4 公民館に泊まって遊ぼう



8/24 文化部視察研修



10/11 ハワイアンキルト講座



11/11 マレットゴルフ大会



11/27 丸の内病院健康教室



1/24 ケーキ作り教室



1/28 軽スポーツ交流会



2/9 男衆のキッチン